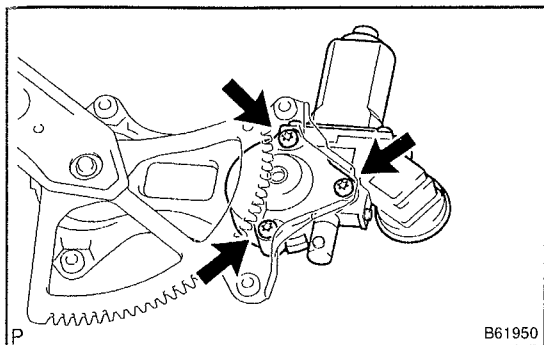




35. パワーウィンドウレギュレータ モータ ASSY RH 取り付け (パワーウィンドウ付き)

<参考>

挟み込み防止機能付きのウィンドウレギュレータとパワーウィンドウモータを切り離した場合、またはドアガラスが組み付いていない状態でウィンドウレギュレータを動作させた場合、パワーウィンドウモータのリセット (リミットスイッチの初期位置設定) が必要となる。

(a) 運転席パワーウィンドウモータのリセット

- (1) パワーウィンドウモータを取りはずす。
- (2) パワーウィンドウモータおよびマスタスイッチを車両のワイヤハーネスに接続する。
- (3) イグニッションスイッチをONし、マスタスイッチを操作してパワーウィンドウモータをUP側に出力軸を6回以上または4秒以上空回りさせる。

<参考>

パワーウィンドウモータ単体で空回りさせる場合は、コネクタの4端子にバッテリーのプラス、5端子にバッテリーのマイナス端子を接続する。

<注意>

パワーウィンドウモータの上記以外のコネクタ端子にバッテリー電圧を加えるとパルスセンサ、リミットスイッチ破損の恐れがあるため、絶対にバッテリー電圧を加えない。

- (4) トルクスドライバー (T 25) を使用して、パワーウィンドウモータをウィンドウレギュレータに組み付ける。

<注意>

パワーウィンドウモータはレギュレータアームが中間位置より下側で組み付ける。

- (b) フロントドアウィンドウレギュレータ RH の摺動部にボデーグリースを塗布する。
- (c) トルクスドライバー (T 25) を使用して、スクリュー3本でパワーウィンドウレギュレータモータを取り付ける。

基準値 : $T=5.4\text{N}\cdot\text{m}$ {55kgf·cm}

<注意>

新品のフロントドアウィンドウレギュレータは、ネジ加工されていないがセルフタッピング方式を採用しており、ネジを締め込むことでネジ加工される。

36. パワーウィンドウレギュレータモータ ASSY 取り付け (パワーウィンドウ付き)

- (a) フロントドアウィンドウレギュレータ RH の摺動部にボデーグリースを塗布する。

